

R8 恵庭市立恵み野中学校 グランドデザイン

▼学校の教育目標

〈基本姿勢として〉一人一人に … 目をかけ、手をかけ、声をかけ
一人一人を … 認めて、褒めて、励まし、伸ばす

- 恵庭市の教育施策
- 恵み野地区小学校の教育目標
- 今日的な教育課題

- 意欲をもって自ら学ぶ
- 広い視野と豊かな心をもつ

- 正しく判断し協力して活動する
- 生命を尊び健やかでたくましく生きる

- 管内教育推進の重点
- 保護者の願い
- 学校評価の結果分析
- 恵み野中CS（コミュニティスクール）での協議

【R8 重点】 「授業改善」による確かな学力の育成、豊かで広い心・ふるさと「恵み野愛」の育成～「安心できる居場所」と「関係づくり」で親和性を高め、ふるさと恵み野に貢献できる人材を育成する～

▼育成を図る資質・能力(重点)

※網掛け部分は重点(下段数字は、目標値(R7度数値+10%以上))

子ども像 3つの柱	学力・表現力 コミュニケーション力 ＜学ぶ意欲をもち自分の考えを表現＞	思いやり・協働性 ＜他を思いやり、支え合いながら活動＞	恵み野愛 ＜恵み野に誇りを持ち、地元で活躍＞
知識・技能	①基本的な学習内容と、毎時間ごとの学習習慣が定着している。(重点教科：数学)	④生徒同士が協調性や協働性を身に付けて、集団としての親和性が高まっている。 生徒アンケート90%以上	⑦様々な人たちから学び、次世代に求められる社会貢献の態度を身に付けている。
思考力・表現力・判断力	②対話を通して自分の考えを表現し伝える。(言語能力、プレゼンテーション能力向上)	⑤家族、友達、先生など、多様な他者との交流を通して、人権を尊重するために必要なことを考えている。	⑧恵み野の発展について自らの意見を発表し、他者と協働してどう行動できるかを考えている。 生徒アンケート90%以上
学びに向かう力・人間性等	③自ら学習を振り返り、手応えや課題を整理し、次の学習に向かおうとしている。 生徒アンケート90%以上	⑥すべての生命を尊重する態度と、自らの健康管理と体力の増進を身に付けようとしている。	⑨人との出会いから学び、探求的活動に主体的に取り組もうとしている。
検証機会 (C)	①中間評価及び期末評価 ②小中連携合同会議	①中間評価及び期末評価 ②小中連携合同会議	①中間評価及び期末評価 ②小中連携合同会議

▼具体的な取組 <検証期8月(中間評価)と1月(年度末評価)>

全ての生徒が活躍する「授業改善」 ①「対話」を重視した授業「決める」「伝える」「分かち合う」場面の設定 ②「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図るICTの有効活用 ③学習規律の理解 ④学習の見通しの提示 ⑤話す・書く場面の設定 ⑥学習を自ら振り返り、毎授業ごとの確実な定着	心のサインを受け止める生徒指導(環境の改善) ①情報の共有と組織的対応 ②きまりの理解と定着 ③基本的生活習慣の確立 ④信じ、任せ、認め合う指導 ⑤失敗を生かす指導・支援 ⑥生徒の主体的活動の設定 ⑦援助希求的態度の涵養 ⑧関係機関との連携 ⑨環境改善(健康・安全への配慮)	恵み野中コミュニティ・スクール活動と小中協働の日常化 ①地域総がかりによる子どもの資質能力の育成 ②地域住民等の主体的な教育活動への参画 ③CS ルームを通じた、地域との融合 ④小学校と連携した児童・生徒支援(あったか支援) ⑤共同学校事務室も視野に入れた連携	元気な職場づくり働き方改革アクションプラン ①働き方改革を「自分事」とし「自走」するチーム ②「地域との協働」を通して変化を実感し「働きやすさ」と「働きがい」が両立する環境の実現 ③部活動ガイドラインの遵守 ④学校閉庁日の設定 ⑤コアチームによる働き方改革提案の着実な実施
資質・能力の確実な育成・定着	あらゆる危機を想定した対応	地域と歩む持続可能な体制	意識の変容・転換を促す取組

□ 教職員の行動指標 □ ①課題の共有 ②主体的な姿勢 ③相互尊重